



令和4年3月4日	
資料提供	
担当課	県立博物館 学芸課
担当者	学芸課長 前田正明
電話番号	073-436-8684

## 和歌祭400年の歴史をたどります

和歌祭創始400年記念 企画展「和歌祭と和歌の浦」の開催について

和歌祭は、江戸幕府を開いた徳川家康をまつる紀州東照宮の祭礼です。和歌祭が初めて行われたのは元和8年（1622）のことで、今年で400年の節目の年を迎えます。

和歌山県立博物館では、平成18年（2006）に特別展『和歌祭』を開催し、その後も和歌祭に関係する資料を調査・収集してきました。また、和歌祭に関する研究も進み、平成21年（2009）には和歌祭仮面群 面掛行列所用品が、平成23年（2011）には和歌祭祭礼所用具が、それぞれ和歌山県指定文化財に指定されています。

この企画展では、和歌祭創始400年にあたり、改めて和歌祭や舞台となった和歌の浦を紹介します。

会期 令和4年3月12日(土)～4月17日(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入館料 一般280円（230円）、大学生170円（140円）

（ ）内は20人以上の団体料金

高校生以下、高齢者(65歳以上)、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料

休館日 月曜日(ただし、3月21日は開館し、翌22日は休館)

新型コロナウイルスの流行状況により、変更される場合があります。

展示資料総数 33件43点 うち和歌山県指定文化財 5件8点

和歌山市指定文化財 1件2点

\*感染防止のため、ミュージアム・トークなどのイベントは中止します。

担当者 県立博物館学芸課 学芸課長 前田正明

[添付資料]チラシ、展示のみどころ

画像データは、下記のアドレスにご連絡いただければ、送付いたします。

admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp(博物館メールアドレス)

【展示のみどころ】

①創設されたころの華やかな和歌祭の様子が描かれています。



とうしょうぐうえん ぎ え ま き だい ご かん す み よ し ひ ろ み ち ひ つ  
**東照宮縁起絵巻 第五巻 住吉広通筆 紀州東照宮蔵**  
とうしょうだいこんげん  
東照大権現としてまつられた徳川家康の伝記を絵画  
化したものです。紀伊藩初代藩主徳川頼宣よりのぶが住吉広通すみよしひろみち  
に命じて描かせ、東照社(紀州東照宮)に奉納しました。  
全部で5巻あり、5巻目には東照社の造営しょうほうと正保2  
年(1645)の家康30回忌に行われた和歌祭が描かれ  
ています。この絵巻はその翌年に制作されました。  
和歌山県指定文化財 〔展示番号1〕

②江戸時代の終わりに御旅所の位置が変わりました。紀伊藩の役人が警備のため携帯した絵図と考えられます。



きしゅうわ か さいれいおんみち え す  
**紀州和歌祭礼御道絵図 個人蔵**  
東照宮から御旅所までの渡御行列の道筋を中心に、  
玉津島神社の南から天満宮の鳥居前までの細長い入  
り江とその周辺が描かれています。嘉永4年(185  
1)に完成した新御旅所や不老橋も描かれ、御旅所  
内での建物や関係者の配置を詳しく書いています。  
藩の役人が警備のために携帯したものではないかと  
みられます。 〔展示番号12〕

③明治時代の和歌祭が描かれています。なかには、初めて出された練り物もありまし  
た。



わ か ま つ り す え の も と ゆ う こ く ひ つ  
**和歌祭図 榎本遊谷筆 個人蔵**  
大正9年4月に行われた和歌祭(藩祖御入国3  
00年祭)が色鮮やかな色彩で描かれています。  
紀伊藩の家臣で、藩のお抱え絵師である笹川  
遊原ゆうげんに学んだ榎本遊谷えのもとゆうこくが、翌年10月に制作し  
ました。母衣ぼろの騎馬武者は、明治時代になっ  
て初めて出された練り物です。〔展示番号31〕